

## がんにおける水チャネルタンパク（アクアポリン）の発現とその臨床的意義に関する研究

### 1. 研究の対象

1983年1月～2016年12月に当院でがんに対する手術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

アクアポリンは細胞膜に存在する水チャネルタンパクで、細胞の水バランスに重要な役割を果たしていることが知られていますが、近年、がんの増殖や浸潤にも関与している可能性が示唆されています。今回、さまざまながんのアクアポリンの発現を調べ、それががんの転移のしやすさや予後にどのように関係しているかを調べます。本検討では、免疫組織化学と呼ばれる手法を用いて、パラフィンブロックから作製した組織切片を用いてアクアポリンの発現を詳細に調べ、リンパ節転移や予後との相関を調査します。

研究期間は平成29年3月17日から平成32年3月31日までを予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いられるデータは、手術当時の患者さんの年齢、性別、組織型、リンパ節転移の有無、ステージ、無増悪期間、全生存期間などです。

試料としては、切除標本の病理組織パラフィンブロックを用います。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校病態病理学講座

佐藤仁哉（研究責任者）

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

電話 04-2995-1211（内線2279）